

令和6年度学校運営連絡協議会実施報告書

第1 組織

- (1) 都立新宿高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(総務主任兼務)=事務局長、総務部員4名 計5名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長、経営企画室長、教務部主幹教諭、進路指導部主任教諭、生活指導部主幹教諭
計6名
- (4) 協議委員の構成
教育関係者4名(中学校長、大学教授、予備校、学習塾関係者)、地域関係者(近隣施設長)2名
保護者代表(旧PTA会長、PTA会長)2名、同窓会代表1名 計9名

第2 令和6年度学校運営連絡協議会の概要

I 学校運営連絡協議会

第1回 令和6年7月13日(土)開催

- (1) 校長挨拶及び委員委嘱
- (2) 令和5年度学校経営報告・令和6年度学校経営計画及び本校の教育活動の概況
- (3) 本校の現状と課題を書面で報告(教務部・進路指導部・生活指導部各主任)
- (4) 本校の教育活動についての意見交換

第2回 令和6年11月16日(土)開催

- (1) 令和6年度学校経営中間報告(校長)
- (2) 本校の現状と課題(教務部・進路指導部・生活指導部主任)
- (3) 学校評価委員会「令和6年度学校評価アンケート」内容の検証、提起と検討
- (4) 本校の教育活動についての意見集約依頼

第3回 令和7年2月15日(土)開催

- (1) この1年を振り返って(校長)
- (2) 本校の現状と課題(教務部・進路部・生活指導部各主任)
- (3) 学校評価委員会「令和6年度学校評価アンケート結果」報告と学校への提起
- (4) 本校の教育活動についての意見交換

II 評価委員会

第1回 令和6年11月16日(土) 内部委員2名、協議委員3名

学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察

今年度の学校評価の観点・項目、内容の検討

第2回 令和7年2月15日(土) 内部委員2名、協議委員3名

アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、評価報告書(原案)の検討

第3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

1 学校評価の観点

- (1) 教育目標の達成のため、本校がその教育機能をどの程度果しているかを確認する。
- (2) 評価結果を踏まえ、令和7年度の学校経営方針に反映し教育活動の改善に役立てる。
- (3) 総合的かつ客観的な評価結果を得るよう努める。

2 アンケート調査の実施時期・対象・規模

- | | | | | | |
|-----|-----|-------|------|--------------|------------|
| (1) | 12月 | 生徒 | 959人 | (回答者数: 749人) | 回答率: 78.1% |
| (2) | 12月 | 保護者 | 959人 | (回答者数: 478人) | 回答率: 49.8% |
| (3) | 12月 | 学校教職員 | 71人 | (回答者数: 56人) | 回答率: 78.9% |

3 主な評価項目

- (1) 学校運営 学校の教育目標はわかりやすく示されているか。

- (2) 学習指導 学習指導が工夫されているか。
- (3) 生活指導 生徒が基本的な生活習慣を身に付けられるような適切な指導が行なわれているか。
- (4) 進路指導 適切な進路情報の提供に努めているか。
- (5) その他 学校と保護者との連携は良好であるか。

4 評価結果の概要及び分析・考察

全般

令和3年度より学習支援クラウドサービス (Classi)、令和5年度より学習支援サイト (Teams) により実施してきたが、無記名アンケートであることから未回答者に対する督促などが十分に行えず、生徒、保護者ともに回収率が大きく低下していた。今年度より紙面による調査に戻した結果、生徒の回収率を回復させることはできたが、保護者については拡幅させることができなかった。保護者についてはPTAを通した周知を行うなど、委員より改善策が挙げられた。

アンケート項目は経年比較を行うため、昨年と全く同じとしたが、昨年度の自由意見でどのように答えたらよいか判断できない項目もあるという意見が見られたことから、全ての項目に対して「わからない」の選択を加えた。

アンケート結果はほぼ全ての項目について概ね80~95%が肯定的な意見(「そう思う」「ややそう思う」の割合の合計)を占めていた。

以下、回答における肯定的回答を中心に近年のものと比較して全般的に分析する。

学校生活

生徒は【目指す学校像への努力】に対する肯定的評価が76%程度で、他項目と比較すると低評価であった。さらに肯定的評価の内訳も他の質問項目と異なり、「ややそう思う」の割合が多くなっていた。委員からは学校の姿勢をより強く発信してみてはどうか、という意見が寄せられた。同項目については保護者にも同様の傾向が見られる。【体罰…】・【いじめ…】についても保護者の肯定的意見は高いものの「ややそう思う」の割合が高いという同様の傾向があるので、情報発信力を高めていきたい。

学習

昨年と同様に【予習・復習】に対する生徒の肯定的(自己)評価が90%以上であるのに対し、保護者は他の全てのアンケート項目の中で最も低い71%程度となっている。自主学習・自宅学習の量を確保することを目的とした予習等の課題を課しているが、その分量については生徒の負担を考慮して近年は調整をしている。生徒としては十分に行っているという自負を持っているようであるが、保護者としてはまだまだできる余地があるように見えているという状況と捉えられる。今年度は自主学習・自宅学習の分量について各教科で見直しを行うよう取り組んできたが、その情報を教科間で共有できるよう、教科会を充実させていきたい。

進路指導

昨年は低調であった2年生(生徒)の【相談機能】が回復した。しかし、2年生(保護者)の【保護者との連携】については引き続き低くなっている。大学受験については学校外から得られる情報も多くなっており、2年生の保護者としては不安になることも多いと思われるので、より一層の対応が求められていると受け止め、改善していきたい。

生活指導

生徒・保護者ともに昨年よりも肯定的評価が上昇している。昨年、自由意見欄で多く見られた頭髪の染色に関する不満が少なくなっている。学校としては校則で制限していることに変わりはないものの、厳しい指導をすることはなくなってきた。頭髪については引き続き生徒とともに考え、対応していきたい。

その他

自由意見について、保護者からはその内容のほとんどが学校への感謝、励ましなどであった。委員からは、教員の勤務の状態が心配である、進学実績だけではない魅力的な学校生活を通じた学校生活の充実を更に目指すことなどの意見や助言をいただいた。

第4 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 9人

(2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
9						

第5 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び学校運営連絡協議会の成果等

1 参加実績 職員会議：0回・延べ0人、 企画調整会議：0回・延べ0人、

2 成果等

・今年度は残念ながら参加は無かったが、学校運営等に関して保護者代表や地域からの意見を直接聴取する貴重な機会として、今後も引き続き協議委員の参加を依頼していく。

第6 その他

・保護者へのアンケートについては Web による実施を併用するなど、回収率の向上を目指す。